

久喜市下水道事業中期経営計画（経営戦略）改定（案）に対する質問と回答について（第1章～第4章）

NO.	分野・項目			質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	章	ページ	項目等		
1	1	2	1 趣旨 (2) 下水道事業中期経営計画（経営戦略）の改定（令和5年3月）	下水道事業は公営企業経営の独立採算が望まれており、この先は使用料収入が減少する中で、一般会計からの補填も増加することが予想され厳しい経営環境の中で、健全経営の道標を明確にすることが必要ではないか。 また、公共下水道事業における未整備地域の解消や各事業の老朽化に伴う更新費用なども経営に与える影響は大きく、多額の借入金残高を抱えており、どのような取り組みと優先順位づけをするのかを明示する必要があるのではないかと。	本計画については、本市下水道事業の将来像を達成するため、中長期的な視野に立った経営の基本計画として、取組項目及び財源等をまとめたものです。 健全経営のためには、使用料収入を増加させ、経費回収率を上昇させる必要がありますが、その道標（ロードマップ）については、32ページの「(3) 段階的な使用料の適正化」の図5-9に、どのような取組を行うかを記載しています。 また、投資に関する各事業の主な取組としましては、25ページから29ページにかけて明記しています。 優先順位づけについてですが、各事業とも必要な事業であると考えています。しかしながら、国の交付金、事業効果、久喜市ストックマネジメント計画、農業集落排水最適整備構想を総合的に検討していきたいと考えています。
2	1	2	1 趣旨 (2) 下水道事業中期経営計画（経営計画）の改定（令和5年3月） 12行目	現在、円安による経済の影響は、大きいと、 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大やウクライナ情勢や円安に伴う物価上昇などがあり・・・」としてはどうか。	ご意見を受けまして、以下のとおり修正します。 修正前：・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大やウクライナ情勢_____ ____に伴う物価上昇などがあり・・・ 修正後：・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ウクライナ情勢や円安の 影響に伴う物価上昇などがあり・・・
3	1	3	図1-2 計画の位置づけ	中央段口の左右を入れ替えたかどうか（久喜市の自主性を強調できる図案）。	今回の改定は、平成30年に策定した計画の中間見直しとして、社会情勢や考え方の変更を反映させるものですので、次回以降の計画策定の際の参考とさせていただきます、原案どおりとします。
4	1	3	図1-2 計画の位置づけ	「ストックマネジメント計画」は後段にも出てくるが、この中期計画当初にはなかったものと思われる。この改訂版に初めて載せているとしたら、注釈をページ下段に加えてほしい。	下水道ストックマネジメント計画については、最終ページに用語解説を追加し、そこに記載しますので、原案どおりとします。
5	1	4	4 計画の対象	浄化槽設置整備事業を策定の対象外にしているが、SDGs「6」関連事業に取り組むなら、浄化槽設置整備に関する何らかの記述が必要ではないか。実際、「浄化槽処理促進区域」が指定され、補助金事業が行われているようであるから、いずれかの章あるいは節でその現状を簡単に（2行ほど）記したらどうか。	本計画は公営企業として実施している公共下水道及び農業集落排水を対象としています。このため、浄化槽については、5ページの「(1) 生活排水処理の種類」において、主な生活排水処理方法の一つとして触れるにとどめており、原案どおりとします。
6	2	6	表2-1 下水道事業の概要（令和3年度）	公共下水道事業と農業集落排水事業間での数値が同じであるが、特に意味があるのか。面積が同じとは思えない。	行政区画面積及び行政区画内人口については、久喜市全体の数値であり、同じ値を記載しています。
7	2	6	表2-1 下水道事業の概要（令和3年度）	公共下水道事業との比較において、農業集落排水事業での水洗化率が低い。主たる理由は何か。	農業集落排水事業における水洗化率は平成28年度の83.3%から令和3年度には89.5%になり、接続促進の成果等もありまして、6.2ポイント上昇しています。 しかしながら、接続促進において公共下水道事業と比較しますと、農業集落排水世帯の方は、「敷地が広く、接続費用が高くなる」、「現状のままでも不便がない」などの理由でなかなか接続が進まないことが、公共下水道事業と比べて水洗化率が低い主たる理由として考えられます。
8	2	7	図2-2 久喜市生活排水処理基本計画における整備区域	地図の文字が小さく読めない。大きく出来たらと思います。凡例などで地区・地域名を番号を付けてみては、と提案します。	図2-2については、市全体の下水道整備区域の概況を確認するものとなっています。地区・地域名の記載や、文字を大きくした場合には、全体の概況が分かりにくくなることから、原案どおりとします。

久喜市下水道事業中期経営計画（経営戦略）改定（案）に対する質問と回答について（第1章～第4章）

NO.	分野・項目			質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	章	ページ	項目等		
9	2	9	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ①人口及び有収水量の減少 4行目	<p>ひところ（5～10年前？）は「節水機器の普及」はもてはやされてはいたが、最近ではここでの使用は違和感を感じる。エアコン等でも省エネという言葉が限界までの省エネが達成されており、使われなくなっている。</p> <p>同じように、新築・改築等で節水型最新モデルを使ったとしてもこの言葉は死語になって、カタログ等での表記はないように思う。</p> <p>「節水マインドの浸透」としてはどうか。もしくは削除でどうか。</p>	<p>節水機器の普及の文言は削除し、以下のとおり修正します。</p> <p>修正前：・・・人口減少や節水機器の普及により減少傾向にあります。</p> <p>修正後：・・・人口減少により減少傾向にあります。</p>
10	2	9	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ①人口及び有収水量の減少 5行目 図2-4 有収水量及び使用料収入	<p>消費税は収入として計上できないと思いますので収入の増加ではないと思いますが計上基準を教えてください。</p> <p>収益的収入・支出、資本的収入・支出は税込み、損益計算書は税抜きの表示となっている。</p>	<p>図2-4については、平成22年度から令和3年度までの有収水量と使用料収入をグラフにしたものです。公共下水道事業については、平成29年度から地方公営企業法の財務規定等を適用しており、それ以前の税抜きの決算額がありません。</p> <p>ご指摘のとおり、使用料を収入する際の消費税は一時的に預かっているものですが、使用料収入の年度比較を行うため、税込みで記載したものです。</p>
11	2	10	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ②未整備地域の解消	<p>下水道事業区域面積の整備済み下水道処理面積は、R3年度で85.9%となっているが、残りの地域を整備するのにどの程度の事業費が必要になるのか、また、達成時期は何年後になるのか。（整備率の目標：R9年度末90%）</p>	<p>整備率100%の達成には約130億円の事業費が必要で、時期については、23年後（令和27年度）を見込んでいます。</p> <p>なお、本計画改定（案）の整備率目標90%には約30億円の事業費が必要となります。</p>
12	2	11	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ③浸水への対応 5行目	<p>「久喜市河川・下水道事業調整協議会」はどのような構成員で組織され、いつ開催するのか。既に開催はしているのでしょうか。</p>	<p>協議会は、埼玉県県の県土整備部、下水道局、久喜市の建設部、上下水道部で構成されています。</p> <p>平成30年度には2回、令和元年度には1回、令和2・3年度は、コロナ禍のため、書面にて各1回開催しています。</p>
13	2	11	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ④未接続世帯への接続促進	<p>整備された区域内でのみ未接続世帯はどのくらいあるのか。H30～R3までの接続世帯数はどの程度改善されたか。未接続の理由はなにか。</p>	<p>未接続世帯数は、令和4年3月末現在で2,162戸となっています。</p> <p>平成30年3月末現在で2,862戸だったことから平成30年度から令和3年度までで700戸減少しています。</p> <p>接続促進の戸別訪問において聞き取りした未接続の理由は、「年金暮らしで接続に投資できないこと」や「子どもが家を出て現在一人暮らしのため、今後は今の住居に住まなくなること」などがありました。</p>
14	2	12	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ⑤ポンプ場の老朽化への対応 4行目	<p>「久喜市下水道ストックマネジメント計画」の内容はどの程度の具体的なものなのでしょうか。このページの先にもこの計画に沿って施設の対策をとっていくとあります。この計画の内容をある程度把握していないとその項目の文言も校正が難しいような気がします。</p>	<p>久喜市下水道ストックマネジメント計画は、中長期的な視点のもと施設全体の状態（劣化状況、耐用年数、故障）を把握し、計画的・効率的に管理することを目的としています。</p> <p>具体的な管理方法としては、重要度が高い施設は、劣化状況を確認し、対策を行う「状態監視保全」や施設の特長（電気設備など）に応じて耐用年数で対策を行う「時間計画保全」、重要度が低い施設は、故障の発生後に対策を行う「事後保全」としています。</p> <p>改築年度などの方針については、本計画において定めています。</p>
15	2	9～13	-	<p>住民人口動態、合流式が高コストで、経費回収率が相対的に低く、県流域下水道事業維持管理に支払う費用負担が大きい事情は分かる。ところで、20m³下水使用月額料金3,000円（総務省最低限基準）が出てくるが、外生の総務省基準に限りなく近づけるというような印象は避けたい。独立自治体としての料金体系の必要性を説得的に示す必要がある。（本『経営計画』後続章で説明されているが）久喜市の固有な事情に基づく公共料金の形成が基本と思う。もし政府・県等からの補助金額の額に影響するならば、その際に短期および長期の戦略オプションを示す料金設定のシナリオが欲しい。また、未整備地域（公共下水道）の解消の遅れが、個別家計側に原因するかの印象を受けるが、接続促進の障害因を明示してはどうか。</p>	<p>使用料収入については、自治体の個別事情を勘案しての料金体系が基本と考えていますが、総務省の通知にて、有収水量1m³当たりの使用料が150円（20m³で3,000円）に満たない場合、一部、一般会計からの繰入対象とならないと示されるなど、財政支援の基準とされていますので、記載したものです。</p> <p>未接続の理由として、「年金暮らしで接続に投資できないこと」や「子どもが家を出て現在一人暮らしのため、今後は今の住居に住まなくなること」などが挙げられますが、個別事情のため、原案どおりとします。</p>

久喜市下水道事業中期経営計画（経営戦略）改定（案）に対する質問と回答について（第1章～第4章）

NO.	分野・項目			質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	章	ページ	項目等		
16	2	13～14	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ⑦汚水処理費用に対する財源の確保	経費回収率は、H30年以降も73%前後を推移しており、「汚水の処理費用は使用料で賄う」原則から料金改定の方角を明確にするべきではないか。また、一方で経費高となっている要因の汚水処理の埼玉県流域下水道事業に支払う維持管理負担金単価の引き下げも短期的な視野での取り組みを示して欲しい。 (13頁の経費回収率のグラフの「類似団体」とはどこかを教えて欲しい)	汚水処理費用は使用料で賄う必要がありますが、公共下水道事業では経費回収率が73%前後での推移となっており、使用料収入だけでは賄えていないのが現状です。そこで、32ページの「(3)段階的な使用料の適正化」におきまして、使用料改定の必要性及び取組内容を記載しているところです。 また、流域下水道維持管理負担金については、負担金の単価を流域ごとに埼玉県が提示していますので、単価格差の解消に向けて、他流域と連携し、県へ要望を行うこととし、原案どおりとします。 13ページの経費回収率における類似団体については、総務省が基準を設け、毎年度公表しています。令和2年度決算における類似団体としましては、坂戸・鶴ヶ島下水道組合（埼玉県）、成田市（千葉県）、八王子市（東京都）など、本市を含めて全48団体となっています。
17	2	13～14	2 公共下水道事業の現状と課題 (2) 課題 ⑦汚水処理費用に対する財源の確保	企業組織としての独立性、採算性は理解できる。持続可能な組織でなければならない。久喜市の回収率（図2-9）が他に比較して劣るようであるが、その原因が①久喜市下水サービス供給側の技術的不効率（高い単価に帰結）、②使用者料金の過小、③広域下水道事業（埼玉県）への高い支払（高負担）、が主に考えられるが、「案」では②、③を主因としているのか。 古利根川系接続が割高であるが、いわゆる「格差」に対する県レベルの具体的な議論および姿勢はどうなのか。	経費回収率は使用料収入を汚水処理費用で除して算出しますが、②使用料が少なく、③負担金が高いことが他団体と比較して率が低い主な理由と考えています。 古利根川流域下水道維持管理負担金単価については、埼玉県としましても課題とされていますが、格差解消には至っていない状況です。
18	2	16	3 農業集落排水事業の現状と課題 (2) 課題 ②未接続世帯への接続促進 6行目	「未接続世帯への接続促進」との関連では、当該赤字文章は不要か。	図2-13の水洗化人口の減少理由として記載しているものであり、原案どおりとします。
19	2	17	3 農業集落排水事業の現状と課題 (2) 課題 ④処理場の老朽化への対応 9行目	「農業集落排水最適整備構想」は農集施設の今後の対応策の判断基準等があるのでしょうか。公共への接続や統廃合、機能強化など、どの手法をとっていくかを決定する根拠等があるのでしょうか。	令和元年7月に農林水産省が示しているインフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき、農業集落排水最適整備構想を策定しました。 公共下水道への接続等の手法については、農林水産省が示している基準に基づき、選択したものです。
20	2	20～21	図2-16 久喜地区の農業集落排水処理区域 図2-17 菖蒲地区の農業集落排水処理区域	地図の文字が小さく、にじんでいる為、読みづらい。凡例も同じく、読みづらい。地区、地域名などを番号を付けてみては、と提案します。	文字を大きくするなどの修正をします。
21	2	22	4 組織の現状と課題 (2) 課題 ①職員の確保と人材育成	部内で「働き方改革」の議論および実施が具体的に示されているのか。 SDGsへの取組を宣言している以上（そして、それは当然であるが）、新規採用人事を含め、既就業者の働き方、働きがい、生きがいを問い、現場に即した新たな雇用・就業形態（中途採用、退職者再雇用、フレキシブル就業etc.）を整える必要がある。当然、総務・人事に関する市役所全体の議論と取組が望まれる。もっとも、退職や部署移動も頻繁で、市全体でのバランス確保は難しいと想像できる。実際、どの組織にとっても、持続性、キャリア蓄積、活力・創造性刺激のバランス配分・調整は難しい。ただし、働き方改革がポーズに終わらないことを望む。	本市では、働き方改革の一環として、毎週水・木曜日は定時退庁とする「ノー残業デー」の実施のほか、心身の健康に害を及ぼすことのないよう「ストレスチェック」などを実施しています。 また、下水道事業への職員配置については、人事課とのヒアリングにより要望を伝え、適材適所の配置が行われていると考えています。
22	2	22	4 組織の現状と課題 (2) 課題 ②ゼロカーボンへの取組	CO2排出削減の具体的な試みを教えて欲しい。	CO2排出削減の具体的な試みについては、34ページの「(6)温室効果ガスの排出抑制」にて記載をさせていただいていますが、設備の更新にあわせて省エネルギー機器への入替や、用地や施設を利用した再生可能エネルギーの導入、また、公用車についても電気自動車等への更新を行うことを検討しています。